

田和山の森から

「松徳学院中等部」森の活動

11月11日（金）、前号でお知らせしたように、松徳学院の中等部生徒が田和山に来てヒノキの運搬をしました。尾根筋にある大木を切り倒し短く裁断した物を、ロープを掛けて運び出しました。この日はバトミンソンの大会と重なり参加したのは19名でしたが、校長先生始め担当者2名の先生に見守られ、森の入り口まで運びトラックに乗せ学校へ持ち帰りました。この後皮を剥ぎ、半分に裁断して加工し、山居川べりにベンチとして設置する計画です。立派なベンチができるのが楽しみです。

ヒノキの伐採 →



枝おろし



ロープを掛けて運搬(1)



ロープを掛けて運搬(2)



終わりの挨拶

「田和山収穫祭」田和山サポートクラブ主催

田和山サポートクラブでは、かねてから計画されていた田和山の収穫祭を11月12日（土）10時から開催されました。始めに乃白神社の宮司さんによる祝詞が上げられ、その後様々な催し物があり屋台も出て、遺跡の山頂や田和山のあちこちで賑やかに盛大な祭りが開かれました。



乃白神社宮司の祝詞



オープンセレモニー

「森の芋煮会」

コロナ禍のため、この所イベントや会員の楽しみを中止していましたが、要望もあり、先日久しぶりに芋煮会を行いました。具材や漬物など持ち寄り、森の休憩所で皆で料理をしました。当日は16人の参加でしたが美味しい芋煮ができ楽しく食べました。

田和山広場 駐車禁止

遺跡下の広場や駐車場が、12月から来年3月まで使用出来なくなります。山頂東側の橋の老朽化に伴う工事や、斜面の崩壊場所の改修工事が行われるためです。この期間作業時の駐車場がありませんので、ご不便ですが行き帰りについて各自でご検討下さい。

田和山の樹木 第35回

イヌシデ

11月末、田和山も紅葉が終わり、枯葉が目立つようになりましたが、この時期に黄葉するのがイヌシデです。イヌシデはカバノキ科クマシデ属の仲間、田和山には大木も含め結構な本数があります。名前の由来は、花穂あるいは果穂を四手(紙垂とは、しめ縄や玉串などに垂れ下がる、細長く切った紙)に見たて、同じ仲間のアカシデやクマシデと異なり葉や若い枝に毛があるので、犬が付けられたと言われています。コナラなどと共に雑木林や丘陵地で普通に見られ近年の雑木林では主要な樹木で、樹高は20mほどになります。



樹皮は灰白色でほぼ平滑で、縦に模様ができます。老木になると、浅い裂け目ができます。樹皮の縞模様が鮮明で、見分けやすいです。

名の由来通り花や実の特徴があり、春先に葉の展開と同時に開花し、雌雄同株ですが花には雌雄あり、雌花は淡いピンク色で、その年に伸びた枝の先で上向きに咲き、苞に包まれた黄褐色の雄花は、前年に伸びた枝から多数が連なって紐状で垂れ下がっています。花が終わると苞が大きくなって垂れ下がり、果穂になります。

(写真左が黄葉した樹冠、右が縞模様のある樹皮)

今後の活動 12月2日（金）13：30～、9日（金）13：30～、17日（土）9：00～、23日（金）13：30～仕事納
1月13日（金）13：30～仕事始め、21日（土）9：00～、27日（金）13：30～